



迎

春

●主な活動の記録 (10月～12月)

10月12日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

平城山ベースキャンプで活動されている「奈良・人と自然の会」藤田会長と阿部顧問の来訪を受け、当クラブ理事と懇談。その後一部作業にも参加され適切なアドバイスを頂いた。活動としては、午前中 FV 連の「緑の募金公募事業：森林の整備と連携して行う普及事業」として一般参加者を募集しての「森林作業体験：竹林の伐採」に参加。チップパーをフル稼働させて整備を行った。枝葉が多く伐りたてのせいかチップパーが目詰まりを起しやすく、頻りに掻き出し作業が必要であった。午後は、前回の作業で残っていた国道沿いの竹やぶの処理(完了)と、次回 FV 連が実施予定の参加者を公募しての間伐体験の準備として選木作業と午前中の続きの竹伐りの 3 班に分かれ作業を実施、「気持ちいい汗」をかいて無事終了。



奈良・人と自然の会と



活躍するチップパー



選木作業

10月16日(水) “荒廃したふるさとの森林を地域の森林ボランティア団体と連携して再生” =「緑の募金」公募事業=矢田山遊びの森 飛鳥里山クラブの養成講座受講生並びにその OB と事務局合わせ 35 名の参加を得て実施。共同作業と交流の集いを持った。当クラブ理事長の歓迎の挨拶に続き、オリエンテーション、情報館内でパワーポイントを使ってのクラブ紹介そして質疑を行い、作業地である頂上展望台近くまで半時間強のハイキング。現地で既に作業を行っている当クラブ員と合流し展望台下で交流を図りながらの昼食。昼食後、作業要領の説明を聞き、人工林内に浸食した竹を当クラブ員の指導を受けながら伐採、整理を進めた。中にはノコギリを持つのが初めての人もいたようだが、熱心に取り組んだおかげで短時間ながら、人数が多いこともあり、整備が進み明るさを取り戻した。作業終了後、チップパーによる竹の処理を見学、放置棚田跡地を整備し植栽した”みんなの森”を経由し戻り、炭窯の説明を受けて後、料理体験館で反省会を持ち 3 時前には全ての予定を無事終了。皆は一様にしんどいながらも楽しんだ模様。



クラブ紹介



作業地へ



チップパー見学



作業風景

10月19日(土) 春日奥山国有林「ふれあいの森」除伐

心配された雨も上がり、7名が参加。一昨年の降雪による、スギの樹冠が飛んだり、裂けて立枯れとなった28本全てを除伐、玉切りし棚積みをした。他に多数の倒木があり、ドライブウェイのすぐ側にて、景観上も考えこれらを整理処理した。雨がぱらついてきたので午後の作業は中止し帰る途中、「古事の森」に立寄り生育状況を覗き見て解散。木々は順調の育っており、数年後の紐打ち又その後の枝打ちまでお互い元気で頑張ろうと話した。

10月6日～19日 「2week パネル展」

奈良市協働推進課主催により奈良市ボランティアセンターで開催された。同市内で活動する各ボランティアグループ・NPO・市民公益活動団体が日頃の活動のPRをパネル展示を通して行うもの。9月22日より11月16日まで開催され、この間各団体が二週間交替で展示。当クラブは上記期間が割り当てられ実施。用意した活動への参加呼び掛けのチラシは半分ほどが捌けていた。

10月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中はFV連「緑の募金」公募事業である「森林の整備と連携して行う普及啓発」に20数名が参加。モミジ谷で二班に分かれ間伐、雑木の除伐を行った。人工林は結構背の高いものにて、掛かり木や絡んだツルの処理に悩まされてしまった。午後は大半が自然観察路の点検整備作業をAコースで実施。一部はチェーンソーの手入れ・目立てを行った。



< 作業風景 >

10月30日(水) 「潤いの森」下草刈り 日笠町

6名に山主さん(女性)も加わり、7月に続き本年二度目の植栽地下草刈りを実施。茶畑跡地だけに日当たりがよく、雑草(特に萱)の繁茂が激しく植栽木を凌駕しており、下刈り器と手鎌で丁寧に刈り取った。午後近くの里山の植栽地では、急斜面での作業故、手鎌だけの作業となったが、日当たりがあまりよくないためか、草は大したことはないため比較的早く作業を完了。



11月3日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

11名が参加。大半は展望台近くでの竹伐り作業。昼前に雨脚が強まってきたので早目に切り上げ、午後は交流館で竹クラフト用の材料づくりを行った。一方、この日子どもも交流館に「フォレスターうじ」の会員29名が揃いのユニフォームで小型バス二台に分乗しての来訪あり。午前中当クラブの活動紹介と情報交換の時間をもらいパワーポイントを使って設立から今日までの活動の集大成を見てもらった後、非常に活発な質疑があり、お互いの活動内容

の理解を深めた。午後当クラブが季節毎に実施している親子自然観察会に参加頂き、3班に分かれそれぞれに森林イストラクターでもあるクラブ員がつき、Aコースを案内。最後に炭窯と側にあった県から借り受け中のチップーを見学し説明を行った。ここでも種々の質問を受けた。



会長挨拶



自然観察



活動状況交換会

11月9日～10日 ”やまと海づくりフェスタ”プレイベント まほろばキッチン

来年当県で開催されるこのフェスタPRのためのイベントの一環として行われ、県からの要請を受け、体験コーナーでネイチャークラブの指導をクラブ員延べ10名が二日間に亘って実施。親子づれ400名近くがブースを訪れ思い思いの作品づくりに取り組んだ。一日目は、日頃当クラブが矢田山遊びの森で実施している人工林を浸食している竹の伐採作業から出た竹を使って、笛・置物・箸・ガリガリドンボ等、二日目は森の恵みである小枝や木の実を使ってのモックンや、木の輪切りでモクマル等をつくり、子供達は早速鳴らしたり遊んだり大いに楽しんでいた。



開 会



竹笛製作中



竹笛合奏団

11月9日 定例活動 矢田山遊びの森

参加者18名。FV連「緑の募金」公募事業で、二回目となるモミジ谷追分梅林方面の竹林整備活動に参加。竹専用チェーンソーと竹ノコを使って伐り倒し、竹チップーで粉碎処理した結果、溪流の両岸は見違えるような景観となった。

11月16日～17日 ”村おこし支援隊” ぬるべの郷(曾爾村塩井地区)

「緑と水の森林ファンド」公募事業として、FV連主催で開催され当県よりは、当クラブ員9名に加え、2団体8名、和歌山県・三重県各5名計27名が参集、過疎地の”村おこし支援活動”を2日間に亘り展開。16日、開会式後 ①草刈り ②竹切り ③人工林の除伐に分かれ、それぞれ同地区から西口区長他4名の指導者の下、紀伊半島三県のボランティアが交流を図りながら共同作業を実施。夕刻、宿舎研修室で漆ぬるべの会吉田会長よりうるし発生の地でのうるし再生にいたる経緯、育苗・育樹の苦労話等をまじえながら「日本のうるし文化」にかける思いを講演頂いた。夕食を取りながら懇親会では日頃の活動・課題等の情報を交換をしながら大いに盛り上がった。

17日、朝一番に、うるしの原木を見学後、前日と同じ編成での作業を正午まで継続。研修室に戻り昼食後の反省会で活発な意見・感想が発表され、最後には観音岳森づくり栄林の会社氏からは「伊勢音頭」が飛出し、これに合わせて皆は手拍子を取り和気藹々の内に閉会。最後に区長より、お陰で綺麗にしてもらい住人は喜んでいるとの

謝辞がありお開き、それぞれの帰路についた。作業班別の活動報告下記の通り。



開 会 式



講 演 会



うるし原木



参加者一同

〈草刈り班〉メンバー11名が二手に分かれ、うるし植栽地では手鎌で坪刈り後、一部は苗畑見学後別の植栽地での坪刈り、残った者は苗が植わっていない部分の草を刈払機で刈り取った。一方植栽地外では、ゴミ集積所付近の笹を刈払機で整備。2日目は、うるし原木(昨年うるしかきをした木)へのアクセス2か所の草刈り、藪状態のところは刈払機で、斜面は手鎌で実施。刈った草を谷へ落とし、遠くからでも原木が見えるようになった。

〈竹切り班〉メンバー8名が2組に分かれ、A組は民家の裏山で屋根にかかりそうな大きな竹や雑木の除伐をロープを使ってコントロールしながら伐倒。見違えるほど明るくなり、所有者は大いに喜んで、おやつの差入れも頂いた。B組は作業地が急峻な川辺りにて川への転落を防ぐため切った竹で柵を作りながら作業を進めていった。両組とも無事に予定を終了。

〈人工林除伐班〉8名が区有林で風害・鹿害による立枯れや樹冠の飛んだものの除伐を二人一組でチェーンソーを使い実施。まず安全を期してロープ掛けして伐倒するため、指導者からロープワークの手ほどきをしてもらってから、十分な間隔を取って作業を進めた。2日目は大径木を安全に倒すため、チルホールとくさびを使ってのデモンストレーションを見学してから、前日同様の除伐作業を続けた結果、かなりの本数の除伐が出来、恰も木を敷き詰めたようであった。



下草刈り



竹の除伐



人工林除伐

11月18日(月) 環境出前講座 辰市バンビーホーム クラブ員3名にて、森林環境教育とクラフト指導を行った。森林の働きとその利用・現状と我々の活動の概要を説明。次いで我々が日頃の活動の一つとして竹林の拡大を防ぐため竹を切っている竹を利用して「ウグイス笛」と季節なので「どんぐりごま」づくりを女の子と男の子のグループに分かれ指導した。笛が出来た子から、どんぐりに穴をあけ、竹ひごを差し込み出来上がり。簡単なのでひとりでも何個も作り、回り方の違いを楽しんでいた。更に時間があり笛をもう一つ作り、鳴らしたり、こまに色づけしたりしている子もいた。今回は参加した子供が7人と少なかったため、ゆっくりと指導が出来た。

11月20日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

雨模様ながら9名が参加。数名で頂上展望台下の法面に植えたサクラが傾いており、簡易チルホールを使って引き起こし作業を試みたが以外に重くかつ根もしっかり張っているためか上手くいかず、引き返して大き目のチルホ

ールを持ってきてこれを使い漸く起こすことに成功。他は竹林で先日切った竹や木の枝の処理・片付けをチップパーを使い行った。雨風が強まり、今年初めて指がかじかむ程の寒さ故、昼に引き上げて今日の活動を終えた。

11月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

一般参加2名を含め24名で、FV連「緑の募金」公募事業、間伐体験に参加。二手に分かれ、モミジ谷付近のヒノキの間伐と皮むき作業を実施。樹高が高いもの多くどうしても掛り木となりこの処理にかなり悩んだ。午後シイタケ植菌ホダ木用にコナラ5本を切り取った。又数名は情報館に戻り、クラフト材料の準備を行った。この日初めての一般参加者2名には、ベテランの会員がマンツーマンでの指導にあたり、ノコギリを使っての伐倒の基本を学んでもらった。かなり興味を持ってもらったようで今後の継続的な参加を大いに期待。



新人の作業体験①



②



コナラの伐倒

12月7日(土) 森林作業体験 奈良北高校

同校2年生の有志45名と先生並びに育友会の方々が早朝から定刻前に集合。当クラブ員7名が指導にあたった。理事長より当クラブの活動内容の紹介後、5班に分かれそれぞれクラブ員が指導員としてついて、グランド周辺のスギ林で作業の意義・手順・留意点を説明の上、間伐作業(ノコギリによる伐倒・枝払い・玉切り)を体験。所々に大きく枝を張ったサクラの木に掛り木となりこの処理に手をやいている班もあった。休息後、場所を駐車場に変えて、森林の役割、COP19を踏まえて地球温暖化問題について説明。最後に竹を使った笛・トンボを作り、早速鳴らしたり、飛ばしたり又ツルを編んでリースを作り頭に乘せたりして楽しんでいた。



受け口づくり



枝払い



玉切り



竹笛づくり

12月14日(土) 定例活動 総会 矢田山遊びの森

寒い朝ながら、定刻に朝礼開始、準備体操をし大半がFV連「緑の募金」公募事業で前回実施の除間伐で伐り倒したコナラはホダ木に、ヒノキは炭材用に玉切りし搬出。昼には料理体験館で女性を中心に朝から準備頂いた餅入りト汁で冷えた体を温め。一時から予告通り第5回総会を開催。この日の出席者27名と委任状4通もあり、定足数の充足を確認し開会。理事長からこの一年、会員皆の協力の下、予定の活動を無事に終わられたとの挨拶に続き、議長選出後議事に入った。

第1号議案 平成24年度 事業報告

第2号議案 平成24年度 収支報告、監査報告

第3号議案 平成25年度 事業計画

第4号議案 平成25年度 活動予定

何れも原案通り可決。その後、今後の運営に関し幾つか質疑があつて閉会。この後、芝生公園中ほどの四方竹(四角い竹)林の整備、炭窯周辺の整理・整頓、料理体験館の片付け・清掃を分かれて行い終了。



玉切り



手送りによる搬出



総会風景



四方竹の整理

12月19日(木) 環境出前講座 都跡バンビーホーム

森林環境教育とクラフト指導を6名で実施。クラブの活動内容とメンバーを紹介した後、参加児童80名が6班に分かれ、それぞれクラブ員が指導について、森林環境教育として、森林の働き・役割について班毎に話し合うグループディスカッション形式を初めて試みた。各班考えが出尽くしたのを見図り、班別に発表させた。これを集約すると概ね考えられる項目を網羅していた。次いで竹笛づくりを指導。まず笛本体となる太目の竹にネズミ錐で穴を開けさせて、次いで吹き口となる細目の竹をグルーガンで固定し出来上り。これに極く細い竹の小口切りをつけ口や耳に見立て小鳥のようにする者もあった。今回は一か所で大人数のため、かなりの喧騒の中での指導となった。本年のバンビーホーム(学童保育所)での環境出前講座は今回で5ヶ所目となり、参加児童の数も300名を超えた。



メンバー紹介



森林の役割を考える



竹笛づくり

12月26日(木) 定例活動 矢田山遊びの森

第4土曜(定例活動日)の12月28日は、矢田山遊びの森が休日のため、本日に振り替へ今年最後の活動を行った。天気予報は午後から雨とのことであつたが、17名が参加。午前中は、倉庫内の道具、機械類の在庫点検及び清掃・整理を行う班、炭窯周辺の片づけ、整理を行う班、ミニ門松づくりの竹材を準備する班、給湯の準備をする班の4つに分かれ活動した。本日の昼食は、各自弁当持参ながら、今年一年安全に活動できたことに感謝し早めの「年越しそば」(おもち入り)がふるまわれ、賑やかに歓談した。午後は、幸い曇り空が続き一部は倉庫内道具、機械類の在庫点検を続け、残りは給湯等の片づけ、ミニ門松づくりを行ったのち、午後、2時30分頃終礼を行い、「来年もよろしく、良いお年を！」と解散した。

～～新年会(予告)～～

1月29日(水)夜

詳細: 後報